

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第10号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者：吉用

はじめに

「成功報酬型」共同研究の導入

2月22日に開催されました役員会において、新たな共同研究の枠組みとして、知財の有無に関わらない「成功報酬型の共同研究」が承認されました。

これまでの産学による共同研究においては、知財を創出してはじめて研究者にライセンス料という形で還元されます。しかし、製品化や事業化に多大な貢献をしながらも、知財が生まれない場合もあります。この場合、大学や研究者が当該製品からライセンス料を得ることができませんでした。

成功報酬型共同研究とは、共同研究契約締結時に達成目標を設定し、これを達成した場合に対価が支払われるとするものです。もちろん知財の取得は必須ではありません。成功報酬の算定にあたっては、両方で協議して定めることとなります。

ご不明な点やご関心がありましたらお問い合わせください。

目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 施設園芸の先駆の地

Topic2. 中山間地域にブルーベリーは根付くか

p3 産学官連携部門

Topic1. 高知県内関係者限定のご案内

Topic2. 平成24年度 JST A-STEP 公募情報

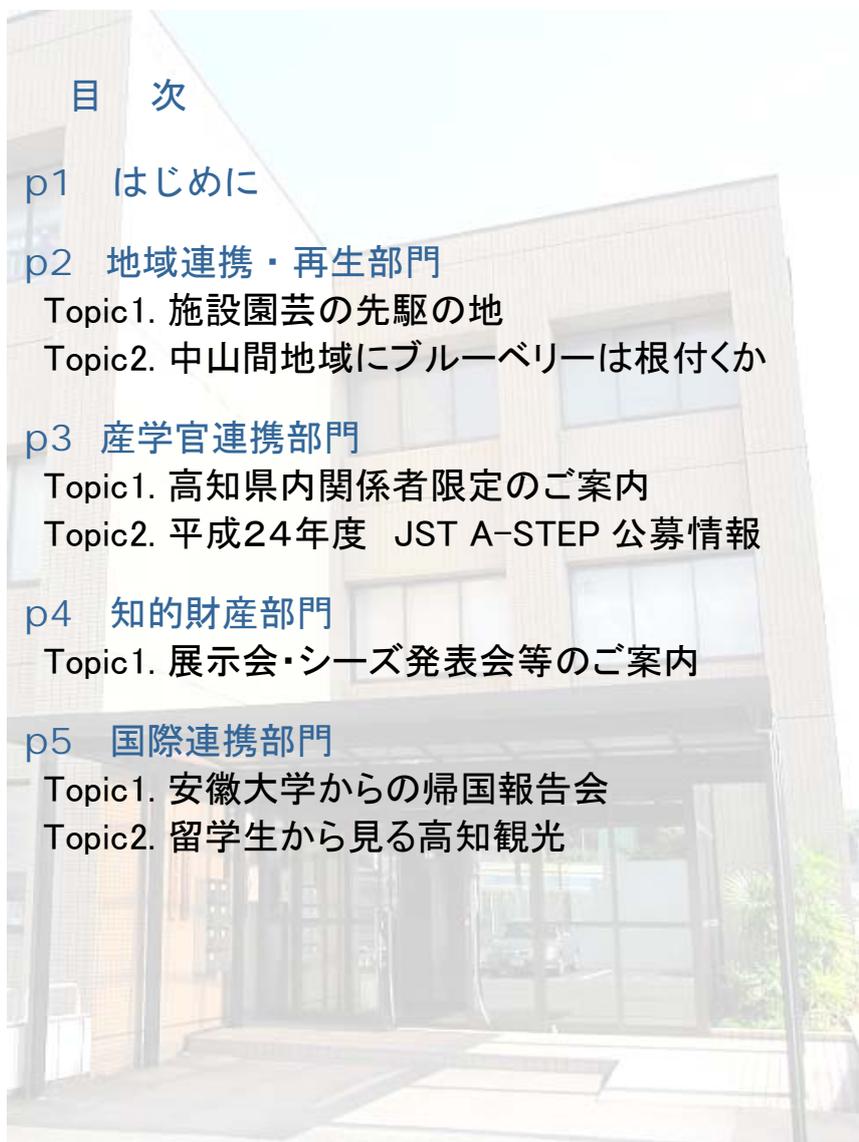
p4 知的財産部門

Topic1. 展示会・シーズ発表会等のご案内

p5 国際連携部門

Topic1. 安徽大学からの帰国報告会

Topic2. 留学生から見る高知観光



Topic 1. 施設園芸の先駆の地

～安田町土づくり連続セミナー 開催～

安田町はハウス園芸発祥の地とされており、ナスやピーマン栽培に古くから取り組んでいる地域です。近年は環境保全型農業にも積極的であり、町役場が中心となって様々な取り組みを行っています。その一環として、町から大学に対して、環境保全型農業のための土づくりについて講演を依頼され、1月から土づくり連続セミナーを開講しました。

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| 1月26日(木) 第1回 「土のことを知っちゅうかえ? ～まずは土から～」 | 講師: 櫻井克年理事 |
| 2月22日(水) 第2回 「環境保全型農業のための土づくり」 | 講師: 西村安代准教授 |
| 3月14日(水) 第3回 「どうすることが土づくり？」 | 講師: 山根信三講師 |

3名の講師の先生方にはそれぞれ概要、基礎、応用をわかりやすくご説明いただきました。参加者は町内の農家30～40名であり、農業のプロとして高いレベルでの意見交換も行われました。今後の町と本学との土づくりにおける連携を深める良い切欠となりました。



Topic 2. 中山間地域にブルーベリーは根付くか

～ブルーベリーの可能性 説明会～

現在、本学農学部教員と地元役場、公設試、企業などが協力し、大豊町における中山間地域振興として遊休地におけるブルーベリー栽培の可能性を検討しています。この研究に対する地元の皆様からのご理解とご協力を頂くため、3月6日(火)に大豊町ふれあいセンターにて、説明会を開催しました。大豊町を中心に65名の参加者が集まり、下記の講演が行われました。

高知大学農学部 浜田和俊 講師

「大豊町でブルーベリー栽培

～大豊ブルーベリープロジェクトの概要～」

高知県農業技術センター果樹試験場 中平智章 主任研究員

「高知県のブルーベリーハウス栽培」

高知県工業技術センター 森山洋憲 チーフ

「ブルーベリーで楽しく美味しいものづくり」

西日本高速道路エンジニアリング四国(株)

「大豊町の名産品を目指したブルーベリー栽培と取り組み」

ブルーベリー樹は背が低いので高齢者も安全に作業でき、さらに出荷時期をずらすことができれば経済性も見込めます。今後、大豊町を中心とした嶺北地域に普及するかどうか、検討が進められることとなりますが、終了後の参加者の反応では、自ら実践してみても良いとの声が多数あがり、今後の展開に期待が持てる説明会となりました。



Topic 1. 高知県内関係者限定のご案内

～産学連携学会第10回大会 <高知県版申込書>～

産学連携学会 第10回大会が本年6月14日、15日、高知県で開催されます。

産学官連携活動の全国規模の紹介の場であり、本大会を通じて高知県の産学官連携の推進による産業振興に繋がることを期待しています。多くの高知県関係者に参加していただくため、今大会に限り、県内関係者は非会員でも参加・発表できるようにしました。産学連携にご関心をお寄せいただき、是非参加をお願いいたします。

※高知県関係者の参加締切日：4月13日(金)必着

第1部：6月14日(木) 9:30～12:30 高知県立県民文化ホール(グリーンホール) 参加費無料

・招待講演：高知県知事 尾崎正直「産学官連携による地域活性化(仮)」

・シンポジウム：「土佐が考える地域活性化の方向性(仮)」

第2部：6月14日(木) 14:00～16:30

6月15日(金) 9:30～17:00 } 高知会館 参加費必要

・一般講演(口頭発表)

・ポスターセッション

「ご案内パンフレット」と「大会発表/参加申込書(高知県版)」がご入り用でしたら、当センターまでご連絡ください。

Topic 2. 平成24年度 JST A-STEP 公募情報

～本格研究開発ステージ 募集～

JST の競争的研究資金、研究成果最適展開支援事業「A-STEP」の公募が開始されました。今回は数千万円～数億円の大型予算として本格研究開発ステージが募集されます。

【本格研究開発ステージ】

公募期間：平成24年2月21日(火)～4月5日(木)正午まで

採択課題数：80課題程度

結果通知時期

書類選考結果：6月下旬

面接選考結果：8～9月頃予定

なお、本格研究開発ステージの前段階であるフィージビリティスタディ(FS)ステージについては、5～6月頃の公募が予定されています。FS ステージは探索タイプとシーズ顕在化タイプがあり、探索タイプは大学研究者単独での申請も可能です。多数のご応募をお願いいたします。

詳しくは↓をクリック



Topic 1. 展示会・シーズ発表会等のご案内

国際医薬品原料・中間体展2012



新薬開発や薬事法改正など、変わりゆく医薬品市場の中、新しい研究成果の発表とビジネスチャンスを狙った、国際的な医薬品の研究・開発・製造のための業界専門展「CPhI Japan2012」が3月21日(水)～23日(金)に、東京ビッグサイトにて開催されます。

今年は過去最大の20カ国、470社以上の企業・大学・研究機関等からの出展があり、本展示会において企業との共同研究・製品化などに繋がる事が期待されています。

本学からの出展者

(セミナー&ポスター展示)

- ・教育研究部 医療学系 基礎医学部門 准教授 松崎茂展先生、助教 内山淳平先生
「バクテリオファージの尾部リガンド分子を利用する細菌同定法」

(ポスター展示)

- ・教育研究部 医療学系 基礎医学部門 教授 本家孝一先生
「生細胞上で細胞表面分子間相互作用を同定する新規方法(EMARS法)」
- ・教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門 特任講師 片岡正典先生
「すべての核酸塩基と塩基対を形成する「ユニバーサル塩基」

四国地区五大学新技術説明会

四国地区五大学 新技術説明会 <small>New Technology Presentation Meetings</small>	分野	材料・デバイス・装置、ライフサイエンス	 <small>独立行政法人 科学技術振興機構 Japan Science and Technology Agency</small>
	開催日	2012年4月6日(金) 10:00～16:20	
	会場	JST東京別館ホール(東京・市ヶ谷)	

四国地域5大学が保有するライセンス可能な特許について、広く企業に紹介する「四国地区五大学新技術説明会」が、テクノネットワーク四国(四国TLO)が中心となり次の通り開催されます。

- ・日時: 4月6日(金) 10:00～16:20
- ・場所: JST東京別館ホール(東京・市ヶ谷)
- ・主催: 高知大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知工科大学、
テクノネットワーク四国、科学技術振興機構

本学からの発表者

- ・教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門 准教授 渡辺茂先生
「各種生体分子の固定化に適した金ナノ粒子 —医療・環境分析分野への応用をめざして—」
- ・教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門 特任講師 片岡正典先生
「すべての核酸塩基と塩基対を形成する人工塩基PPT」

Topic 1. 安徽大学からの帰国報告会

平成22年9月から平成24年2月まで中国の安徽大学に日本語教師として出向していた当センター奥村望客員助教が帰国し、2月24日(金)に報告会を開催しました。世界の日本語教育や安徽省の日本語教育の現状、担当授業や日本文化祭の開催、現地での生活等について、グラフや写真を交えて詳しく説明されました。また、現在、安徽大学に留学中の高知大学生の様子なども聞くことができました。質疑応答では、中国の学生と日本の学生の学習に対する姿勢の違いや、高知大学での留学を終えて帰国した学生の様子等について多くの質問が出されました。



報告会の様子



現地での日本文化祭で
よさこい踊りを披露

Topic 2. 留学生から見る高知観光 ～留学生による外国語版観光パンフレットが完成～

高知県では、観光庁の「外国人旅行者受入環境整備事業」を受け、高知在住の外国人を対象に、外国人旅行者の利便性向上、満足度向上を図るためのワークショップが開催(平成23年9～10月)されました。このワークショップでは、ひろめ市場の国別おすすめメニューをディスカッションするなどして各国の旅行プランを作成し、外国人旅行者がより高知観光を楽しめるよう提案した「外国語版パンフレット」((株)ほっとこうち編纂)を作成しました。このパンフレットは、空港や県内のホテルに配布されております。

本学の留学生11名もワークショップに参加し、英語、中国語、韓国語、台湾語の4種類のパンフレット作成に関わりました。高知県人も驚かされる視点で多くの提案がされていますので、是非ご覧ください。パンフレットは広報戦略室、国際連携室にも置いています。



☆今月の国際連携活動

○中国(安徽大学他)への訪問

平成24年2月20日(月)～22日(水)、遠藤教育学部長、当センター菊地特任教授、当部門林准教授が安徽大学を訪問し、安徽大学日本語教育センターと高知大学中国語センターの運営や海外事務所を設置について会談したほか、高知県上海事務所にて中国でのインターンシップ実施について意見交換、中国帰国留学生ネットワーク上海の鍾会長らと同窓会運営等について打合せを行いました。